

内容

1 部活動改革の背景について

2 東京都の取組について

3 意義や課題等について

3 意義や課題等について

中学校学習指導要領（平成29年告示）

第1章 総則 第5 学校運営上の留意事項

② 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的，自発的な参加により行われる部活動については，スポーツや文化，科学等に親しませ，学習意欲の向上や責任感，連帯感の涵養等，学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり，学校教育の一環として，教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際，学校や地域の実態に応じ，地域の人々の協力，社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い，持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

3 意義や課題等について

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編

第5節 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等

② 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）

異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高いことも指摘されている。

例えば、運動部の活動において保健体育科の指導との関連を図り、競技を「すること」のみならず、「みる、支える、知る」といった視点からスポーツに関する科学的知見やスポーツとの多様な関わり方及びスポーツがもつ様々な良さを実感しながら、自己の適性等に応じて、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学ぶなど、教育課程外で行われる部活動と教育課程内の活動との関連を図る中で、その教育効果が発揮されることが重要である。

3 意義や課題等について

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編

第3 章指導計画の作成と内容の取扱い

3 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）

運動部の活動は、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒が、スポーツを通して交流したり、より高い水準の技能や記録に挑戦したりする中で、スポーツの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動であるとともに、体力の向上や健康の増進にも極めて効果的な活動である。

3 意義や課題等について

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編

第3 章指導計画の作成と内容の取扱い

3 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）

運動部の活動は、主として放課後に行われ、特に希望する同好の生徒によって行われる活動であることから、生徒の自主性を尊重する必要がある。また、生徒に任せすぎたり、勝つことのみを目指したりした活動にならないよう留意する必要がある。

生徒の個性の尊重と柔軟な運営に留意したり、生徒のバランスのとれた生活や成長のためにも休養日や練習時間を適切に設定したりするなど、生徒の現在及び将来の生活を見渡しながら、生徒の学びと生涯にわたるキャリア形成の関係を意識した活動が展開されることが必要である。また、生徒の能力・適性、興味・関心等に応じつつ、健康・安全に留意し適切な活動が行われるよう配慮して指導することが必要である。

3 意義や課題等について

「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」

I 学校部活動

第1章 部活動の教育的意義と適切な運営の在り方

第2章 部活動の在り方に関する方針

第3章 体罰、不適切な行為の防止

第4章 部活動における重大事故防止に向けた安全対策

第5章 部活動中における健康面での留意事項

第6章 各競技における重大事故防止のためのガイドライン

第7章 部活動の実践事例

関係資料

II 新たな地域クラブ活動

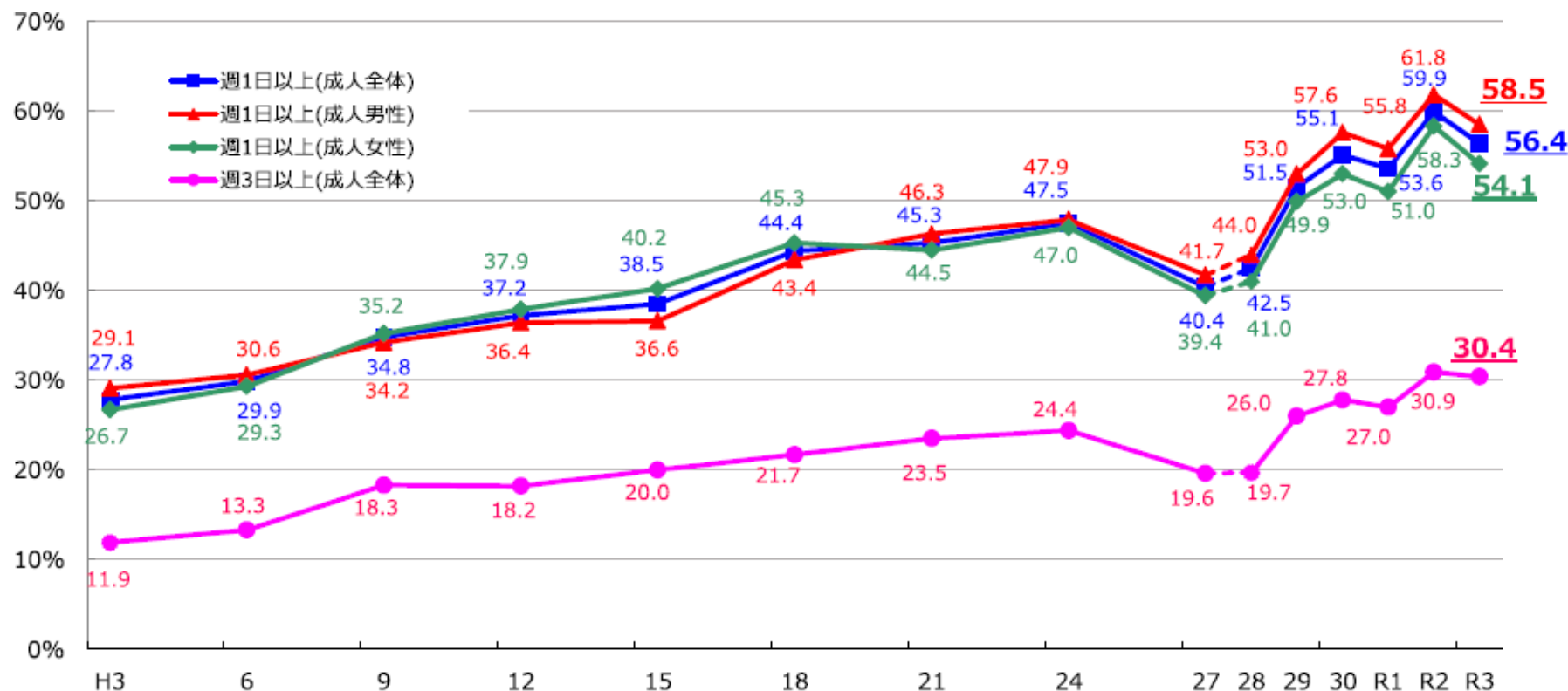
III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

IV 大会等の在り方の見直し

3 意義や課題等について

運動・スポーツの実施頻度について

- 成人の週1日以上の運動・スポーツ実施率は56.4%
(男性が58.5%・女性が54.1%)
- 成人の週3日以上の運動・スポーツ実施率は30.4%



3 意義や課題等について

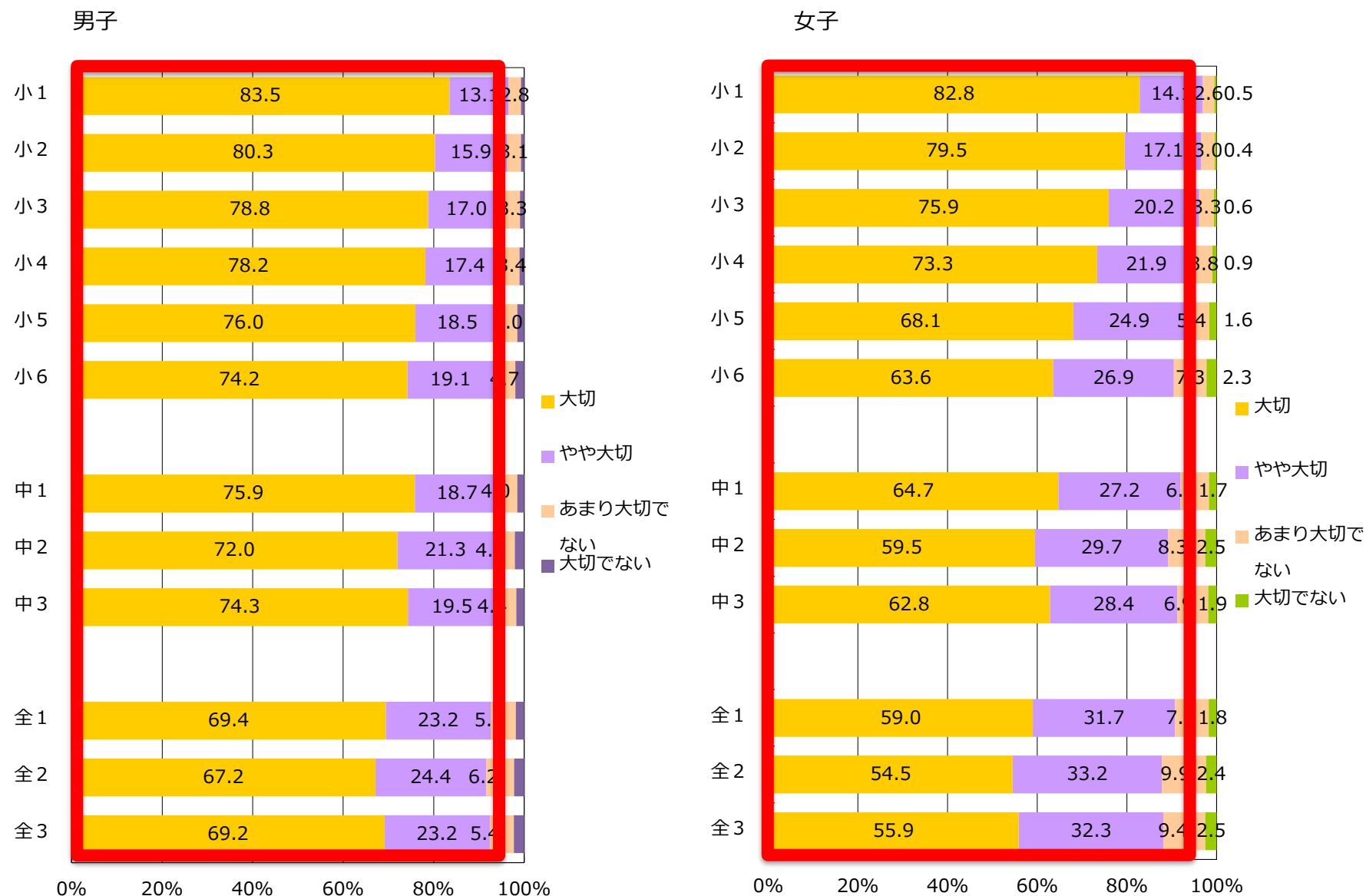
運動・スポーツの実施頻度について



3

意義や課題等について

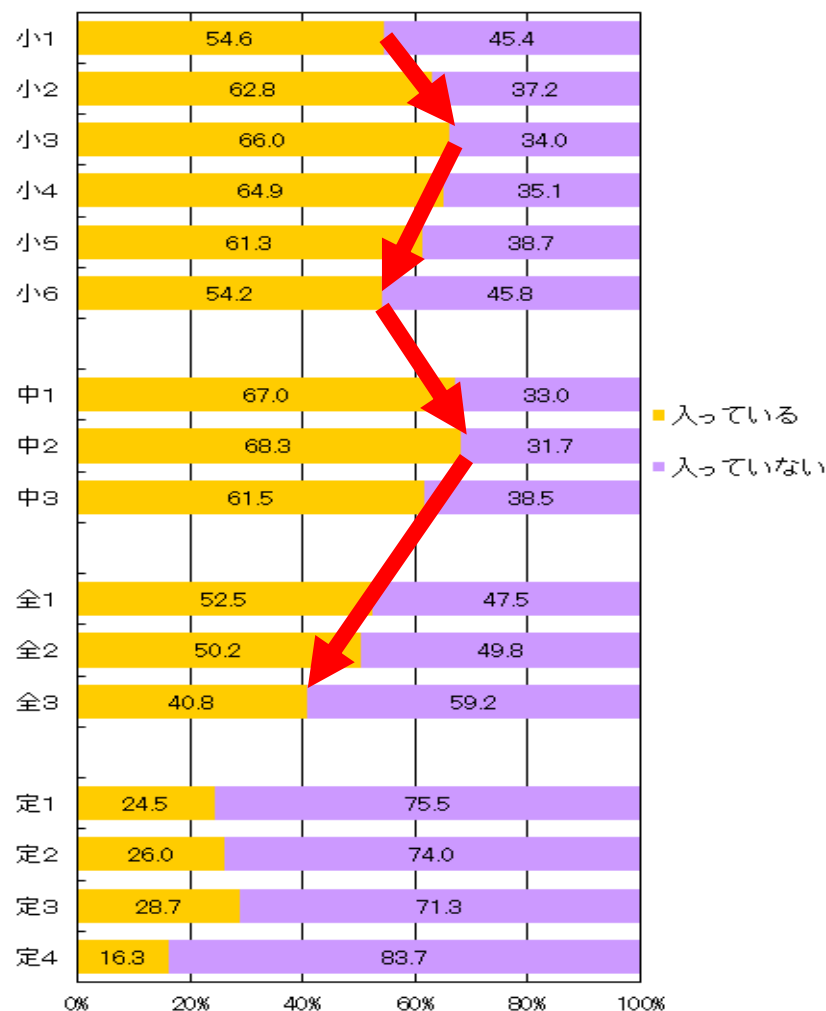
運動やスポーツの価値について



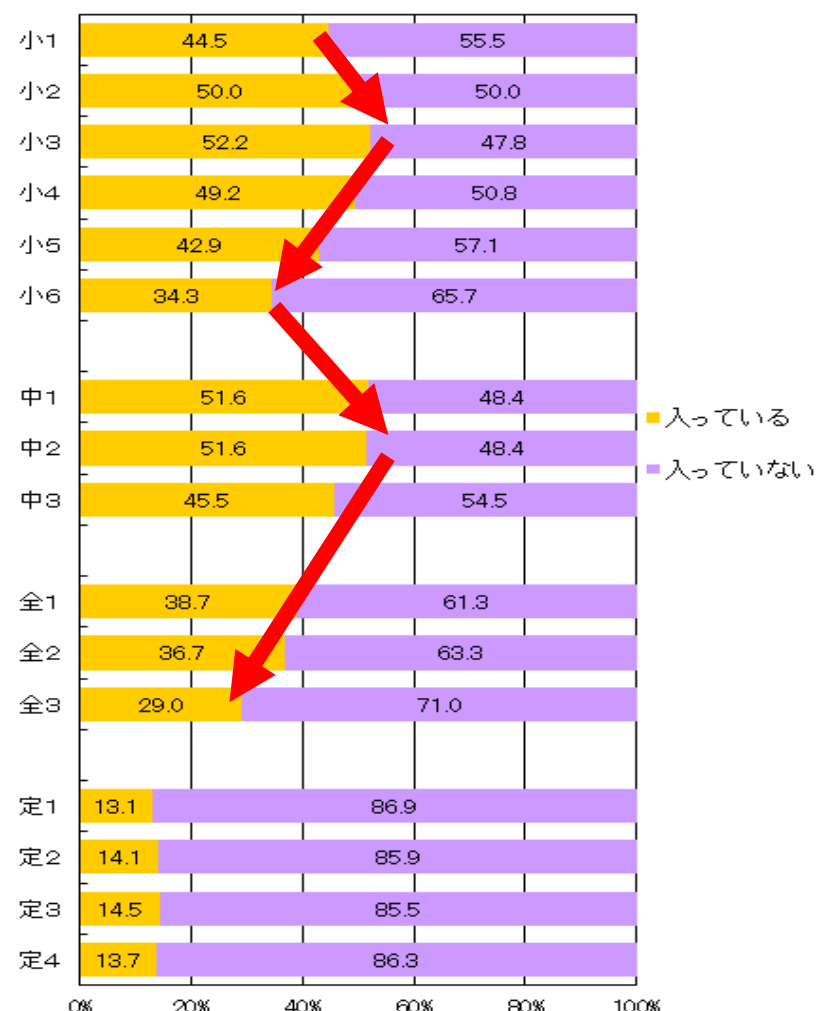
3 意義や課題等について

運動部や地域スポーツクラブへの所属状況

男子



女子



- ①「新たなスポーツ・文化芸術環境」の在り方やその充実方策
 - ・所管の学校部活動における現状と課題の整理 など
- ②「スポーツ・文化芸術団体等」の整備や支援
 - ・活動の運営団体・実施主体の形態
 - ・合同部活動・拠点校方式の活動
 - ・総括コーディネーター・コーディネーターの配置及び人材育成
 - ・平日と休日の一貫した指導体制
 - ・事故発生時の対応、連絡体制 など
- ③指導者の質の保障・量の確保方策
 - ・地域クラブ等から学校部活動への指導者派遣
 - ・効率的・効果的な指導の推進 など
- ④活動場所となる施設の確保方策
 - ・休日の地域クラブ活動における学校施設の管理方法 など
- ⑤「大会」の在り方
 - ・大会引率者の留意事項
 - ・大会時の審判員派遣 など
- ⑥「会費」や「保険」の在り方
 - ・困窮世帯への支援
 - ・保険の加入 など

子供たちが自主的・自発的に
スポーツ・文化芸術活動に
継続して親しめる環境を整備

専門的な技術指導に加え、
大会引率等ができる指導者を配置するなど、
地域と連携して指導体制を整備



未来へつなぐ 部活動改革



令和5年度 第2回クラブ運営スタッフ等研修会

学校部活動の地域連携・地域移行について

東京都教育庁指導部指導企画課
部活動振興担当